

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

勝山市立荒土小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

- 地域関係者（5名）
 - ・区長会・ふるさとづくり推進協議会
 - ・公民館長・有識者・児童ホール担当者
- 家庭（2名）・PTA 役員
- 学校（2名）・校長・教頭

※地域コーディネーター（2名）
荒土町ふるさとづくり推進協議会長
荒土公民館長

(2) 協議会の内容

<開催回数> 年3回開催

<開催日程と主な協議内容>

- 6月：本会の主旨・運営の進め方と学校運営方針の説明（授業参観）
- 11月：児童の現状と課題（授業参観）
- 2月：学校評価結果の説明と次年度の課題検討（学校評価書検討）

(3) 協議会における成果と課題

4グループ（確かな学力、豊かな心、健やかな体、信頼される学校）に各3つ（計12）のプロジェクトを設け、各教員がプロジェクトリーダーとなりスクールプランの具現化する教育計画を児童・保護者の評価をもとに議論してきた。建設的な提案や意見をもらうだけでなく、委員自らがボランティアを申し出るなど具体的な協力を受けた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

原木割り・窯入れ・炭出し・炭クラフト・あらどかるた・米づくりと販売を実際に体験することによって、炭づくりや米づくりについての理解を深め、地域の人々との交流を深める中で地域への誇りと愛着を育む。

(2) 活動の実際

①炭焼き体験と炭出し体験（4年生）

荒土町八幡谷にある炭焼き窯で荒土町ふるさとづくり推進協議会の会員の指導を受けて、原木割りや原木の窯への運び込み作業を実際に体験し、でき上がった炭を窯から取り出す体験活動に取り組んだ。これらの体験をまとめた「あらどかるた」を作成し荒土町文化祭で販売した。

②体験学習で学んだことを地域等に発信（5年生）

堀名銀山や石灰山、壇ヶ城跡、河岸段丘、梅花藻など保護者とともに実際に見学し、学習したことをDVDにまとめ、荒土町文化祭で上映した。DVD作成にあたっては市ジオパーク課の学芸員の指導を受け、勝山市のジオパーク再認定にも貢献した。



地域のお年寄りとの交流

—自作「あらどかるた」を使って—

(3) 地域コーディネーターの活動概要

苗木のホームステイ、原木の窯入れ体験、炭出し体験において児童の活動がスムーズに進行するように積極的な支援に努めた。また、荒土町民文化祭や勝山年の市における販売活動においても、スペースの確保や現地指導等、微に入り細に入り援助した。

(4) 特に工夫した事項

荒土町民文化祭や勝山年の市を目標に、炭を使った作品や自作米の販売や頒布と「はがき新聞」を使ったPRを行った。これらの活動はNIE実践として書く力を高めるとともに、新聞社と連携し活動を広く周知すると共に自尊感情の育成につなげた。

(5) 成果と課題

取り組みの中で、地域独自の「堀名銀山」などの地名や「妙金なす」などの特産物の名前が児童に定着し「地域が好き」と答える児童が90%程度になっている。今後は関わる「人」との関係性をさらに深め、人間関係の温かさを通してふるさとの良さを実感させていきたい。